

## 平成30年度石川県医療計画推進委員会第1回地域医療構想部会 議事要旨

1 日 時：平成30年10月1日（月） 19：00～

2 場 所：石川県庁行政庁舎11階 1109会議室

3 出席者：委員16名（委員名簿は別紙のとおり）

### 4 議 題

- (1) 部会長選任
- (2) 今年度の地域医療構想調整会議の進め方
- (3) 地域医療構想の進捗状況及び個別医療機関の医療機能等
- (4) 医療機関の今後の動向や転換事例等

### 5 主な意見

- ・地域医療介護総合確保基金の活用について、国は、病床の転換に向けた施設・設備整備だけではなく、転換や削減に伴う建物の処分費用なども対象にできるとしているので、これを医療機関に周知してほしい。
  - （事務局）現在、県では回復期病床への転換支援を実施しているところであり、建物の処分費用等への支援については、今後の調整会議の意見等を踏まえ、必要に応じて検討したい。
- ・国は、公立・公的医療機関は民間の医療機関が担うことができない役割を重点的に担う旨明示しているため、県においてももしっかり明示すべきではないか。
  - （事務局）今後、医療機関ごとの転換予定等を把握し、調整会議で協議することとなるが、その中で、民間医療機関との役割分担などを個別に協議していただきたい。
- ・各病院へ病床機能ごとの病床数（具体的対応方針）を調査するときには、定量的基準を明示して聞いた方がより正確になるのではないか。
  - （事務局）今年度中に各病院の具体的対応方針をとりまとめるため、意向調査は早々に実施させていただきたい。定量的基準については国からのデータ提供も踏まえ、できるだけ早めに提示したい。
- ・国は、「地域の実情に応じた」定量的な基準を導入するとのことだが、具体的な石川県の考え方はどういうものなのか。
  - （事務局）地域医療構想では回復期が不足しているということで、地域包括ケア病棟等への転換について支援してきたが、一方で、転換が進み、回復期はそこまで不足していないのではないかという意見もあるようだ。今後、国から提供されるデータを元にいくつかの試算をし、どう試算すると現場の実感に近いものになるのかご相談させていただきたい。

- ・ 定量的基準の導入については、地域の患者の流出状況なども考慮し、何通りか作ってみて、本県の実情と照らし合わせて決めていけばよいのではないかと。
  - (事務局) 定量的基準がより現実に則したものになるよう、これからいくつか試算をして、次回の地域医療構想部会で議論いただきたい。
  
- ・ 地域医療構想の必要病床数の算定に用いた受療率と比べ、現在の受療率は下がってきているが、国ではそれを反映した見直しを考えていないのか。
  - (事務局) 受療率は3年ごとの患者調査の結果から算定することができ、ご指摘のとおり受療率は下がってきているが、国では地域医療構想の必要病床数は見直ししないこととしている。受療率が下がっていること念頭に、協議をしていただければと考えている。